

秘

太

R18  
ADULT ONLY

谷

Ore to Oba tonno  
Himeyakana Yokubou

Presented by  
KNUCKLE HEAD



俺は叔母を犯した



いや……

違う。

はあ

はあ

はあ

はあ



これはお互いの  
同意だ……

はあ……

はあ……

はあ……

はあ……

う……

う……

はあ……





……だめ……

しょうた  
翔太……



……だめ……だて……

ああ……

……み……み……み……



俺と叔母は……

知られたくないの……に……

う……

おねが……

み……ないで……

似たモノ  
同士だ



少し前に  
俺は部活を  
辞めた。



おい、翔太しょうた







うちの親父は昔から何故か野球以外認められなくてさ

ガキの頃は野球チームは強制参加だったよ

本当はバレー部にスリカ、カ...



まあ...今年入って...  
あつたし  
なんかももう...  
続けるの...  
無理だ...  
思ったら

はあ?  
親に部活辞めた事言っていないの?

...言っていない



翔太んこの親父さん...  
厳しいな...

そうなんだようちの親父頑固でさ...



あ...  
そういう理由だったんか

突発的に辞めてた



あ、そーいえば宮川がお前のこと心配してたぞ

宮川...?

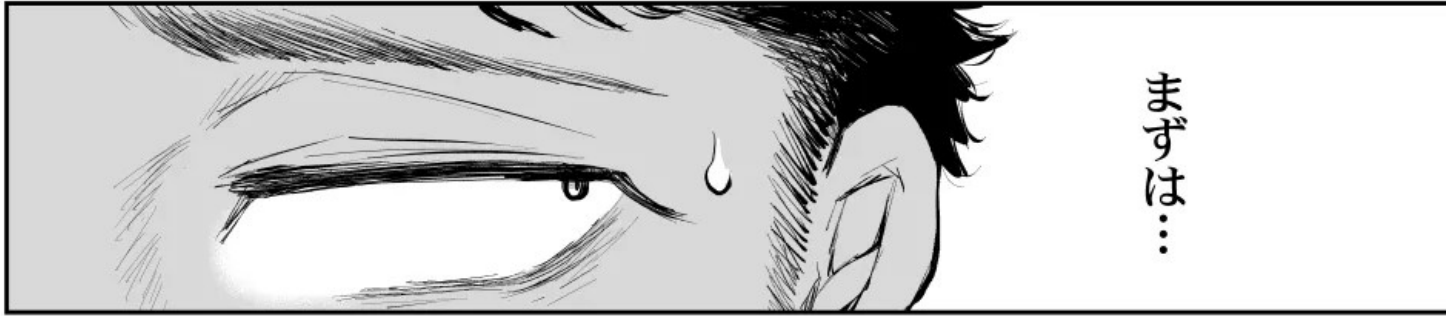


辞めたのバレたらどうなるんだろー

家追い出されたら吉村ん家に泊めてななっ!?

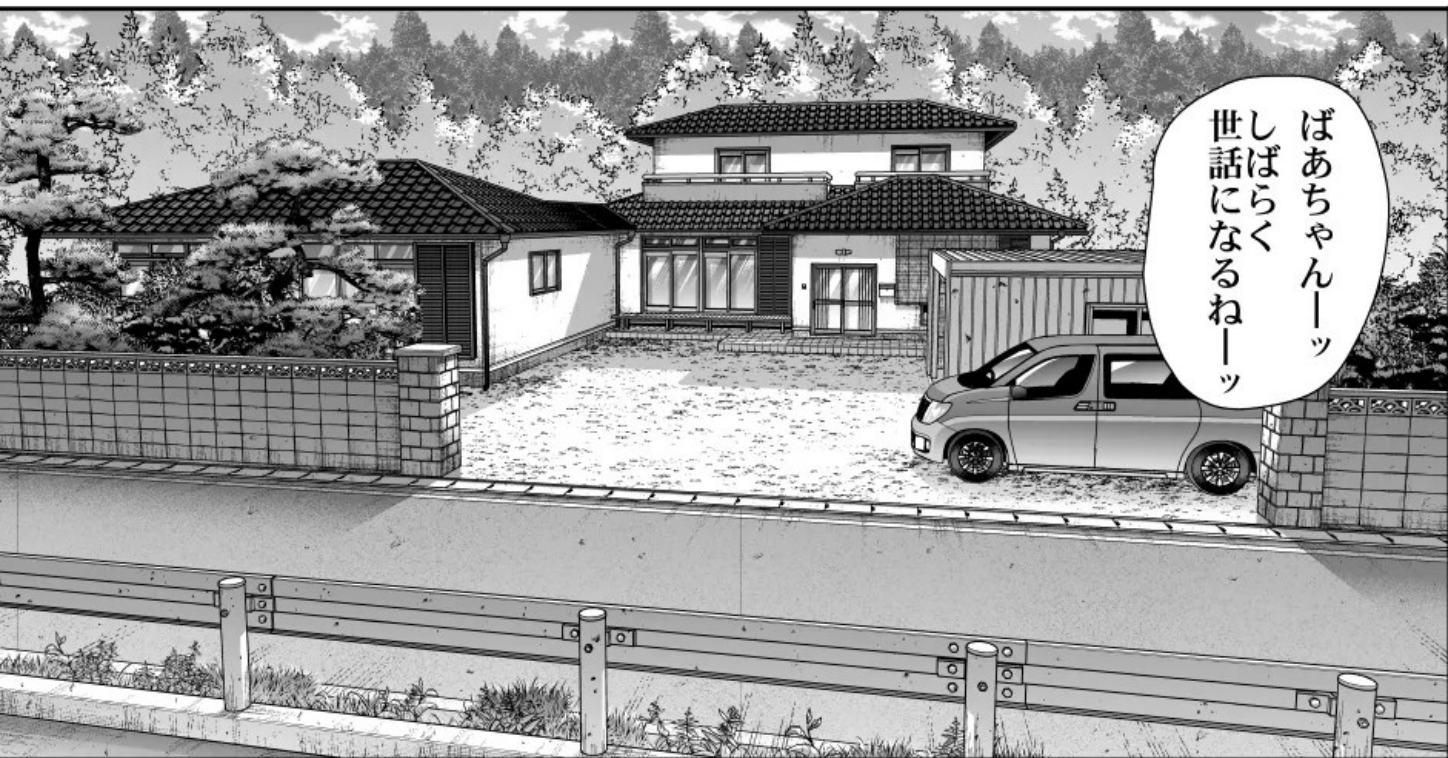
おう、いぞッ!!















俺どの部屋  
使えばいい？

荷物置いて  
くるよ

とりあえず



栞も翔太も  
いるから  
しばらくは  
賑やかであ  
ええなあ

お父さんも  
喜ぶわ



客用の  
ふとんも  
離れから  
あつれから

そうしたら  
ええよ

私離れの部屋に  
いるから  
一緒にここで  
いいでしょ

えッ!?



栞ちゃんは  
とても  
できた人だ。



え？

…ああ

…うん

そーだけど…

俺の事…  
まだ子供だと  
思ってるし…



何、  
その反応ー

アンタが  
小さい時から  
離れで一緒に  
寝てたじゃんッ

あはは

周りからの  
人望も厚く

良い大学  
良い企業に勤め  
結婚もし、  
順風満帆で…

荷物  
運ぼうか？

けど

俺は  
栞ちゃんを  
異性として

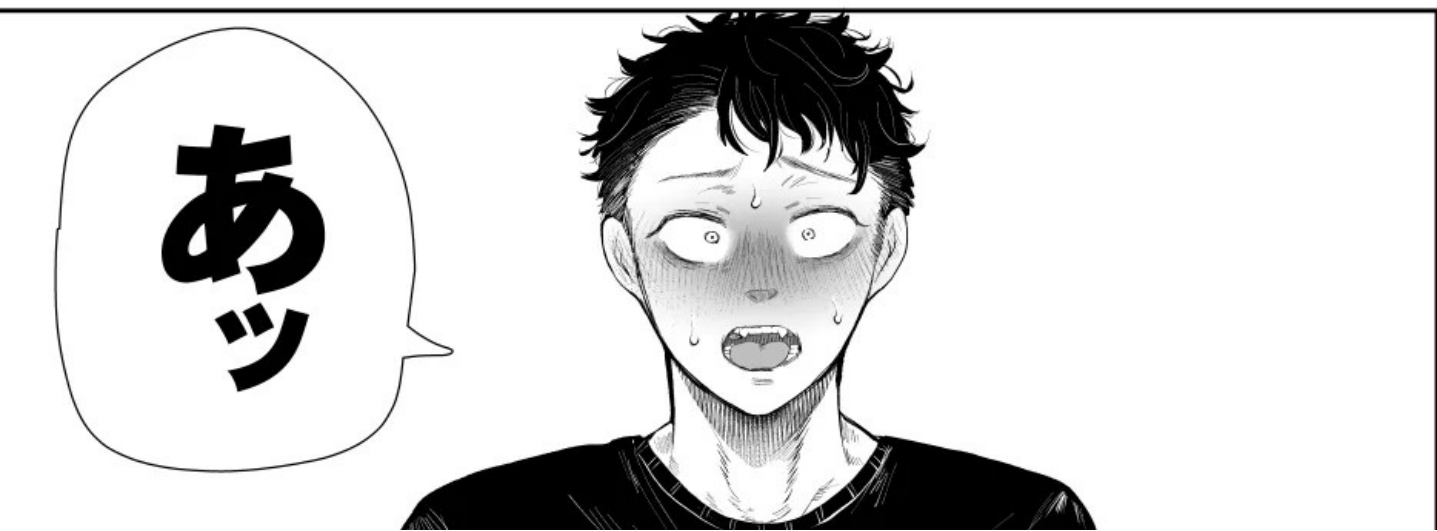
俺からしたら  
お手本の様な  
人だ。

凄く……  
凄く尊敬  
している……



# ずっと性的な目で見ていた…







歪んでいる



—俺の性癖は—

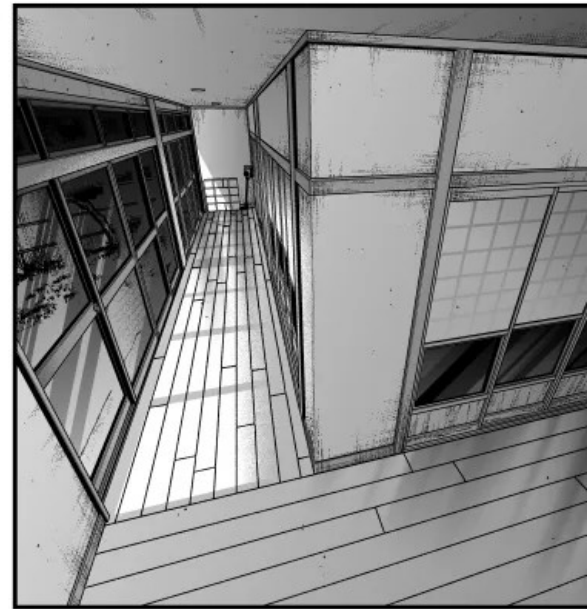


相手を支配しながら



# ぐちゃぐちゃに犯すこと







俺はなんで…  
いつも  
こうなっ  
てしま  
うんだろ…



翔太っ



…あ、あの

ごめんね

鍵してなかつた  
私が悪いから…

…年頃  
だもん

違う



ぐっ...ッ!!



違う...

違う...から...ッ

全部...  
俺が悪い...

俺が...

歪んで...るから...













あ.....















なん…で…  
同じなの…？



こ…こんなこと…  
恥ずかしくて…

だ…  
旦那にだつて  
言え…なくて…

昔から…

ひ、独りで  
抱えてた…



…え？



わ…ッ

わたし…も…



…めちやくちやに  
されたい…願望が…

あるの…



翔太と  
同じ…で…

性癖…が…  
人と違うの…

ほ…

本当の私は

相手に  
従いたい…

もっ…

モノ…  
みたいに



わたし……

変態なの……



昔っから  
「頼りになる人」って  
期待される事が  
多かったんだ



……私ね



でも  
旦那より  
私の方が先に  
出世しちゃって  
可愛げが  
ないって  
言われたの…



結婚しても  
同じで…

周囲の期待に  
応えなきゃって  
思ってた

だから  
そのイメージを  
崩さない様に



私…  
人に弱い所  
見せたり

甘えたり  
するのから  
下手だから…



そこから  
旦那と上手く  
いかなく  
なっちゃった…

実家にも  
来たの  
ただのも  
現実逃避…



…こんなこと  
言って…

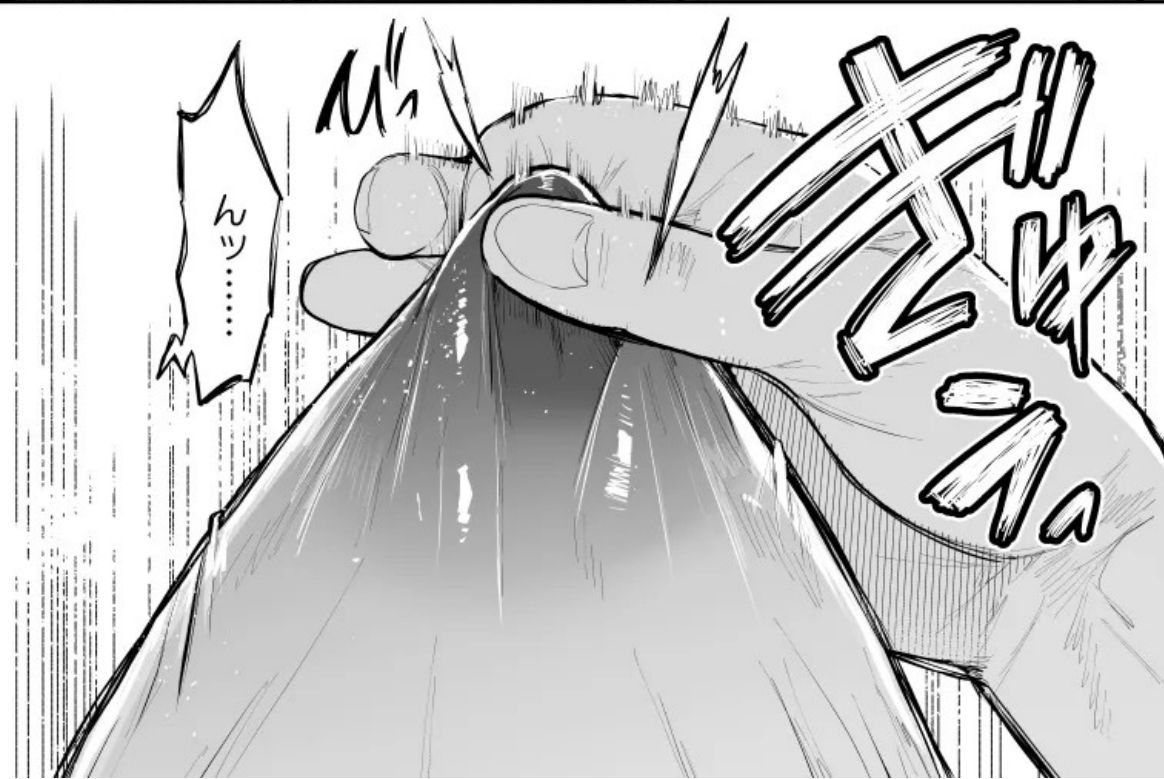
…ごめん

…でも

翔太も同じ  
だったんだって  
思ったら…  
少し気が  
楽になった









これ…するの…

翔太がここに居る間にだけに…

…して…

う…

…翔太

は、

帰ったら関係は終わ…

…だけ…

に…し…ま…

ん…

そのほうが…  
お互いの…

た…ッ  
め…  
…だから…

う、うん…

ふ！

ふ！



葉ちゃんの  
おマンコ  
勝手にいいの…  
興奮…する…

あ…♡

う…ん…♡

ん…♡

あ…♡

あ♡

あ…♡

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア…

ハア

ハア





お、お尻…もっとあげて…

……そうじ

…おっ♡

おま〜♡

おっ♡

おっ♡

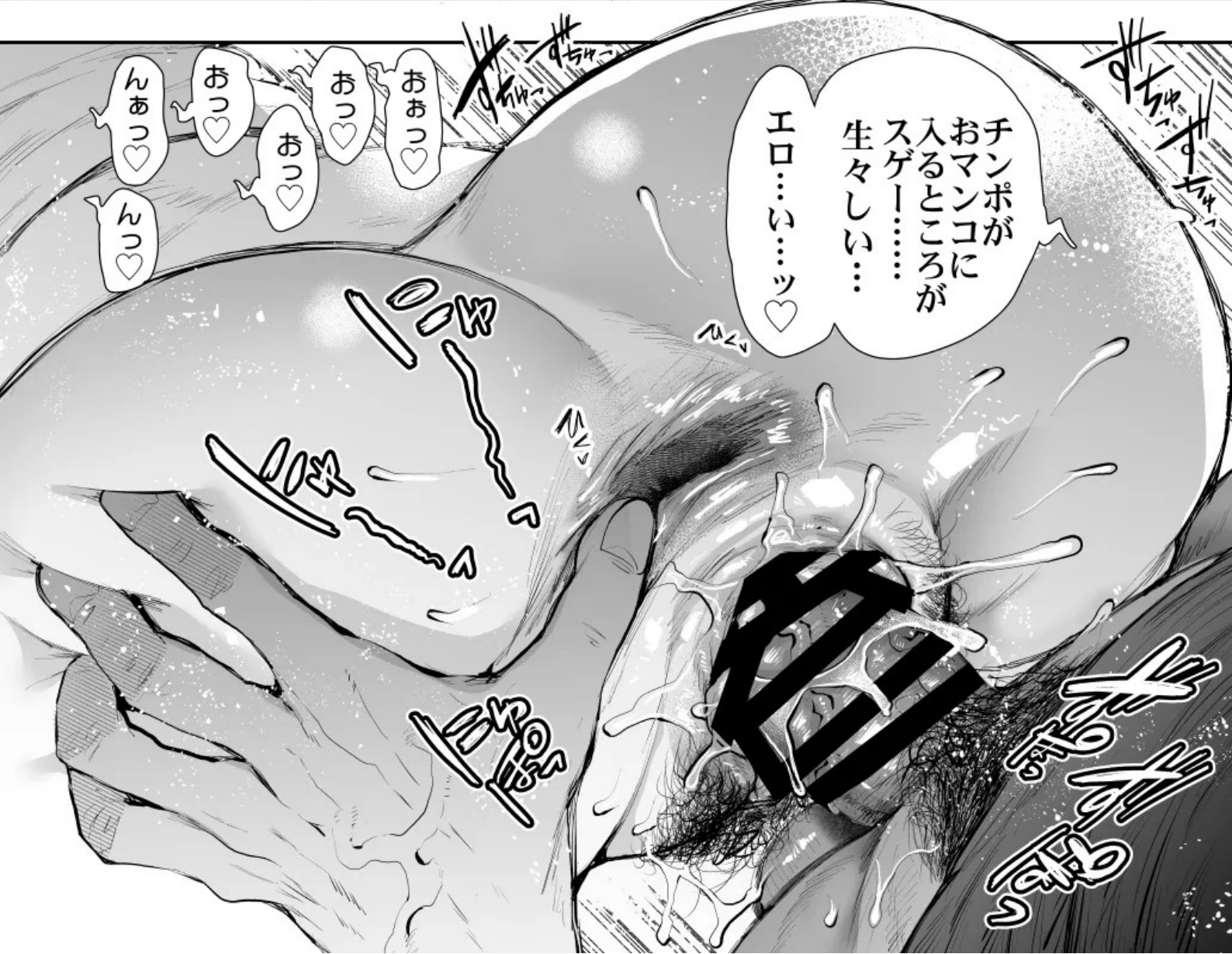
おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡



チンポがおまんこに入るところがスゲー……生々しい……エロ……い……ッ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

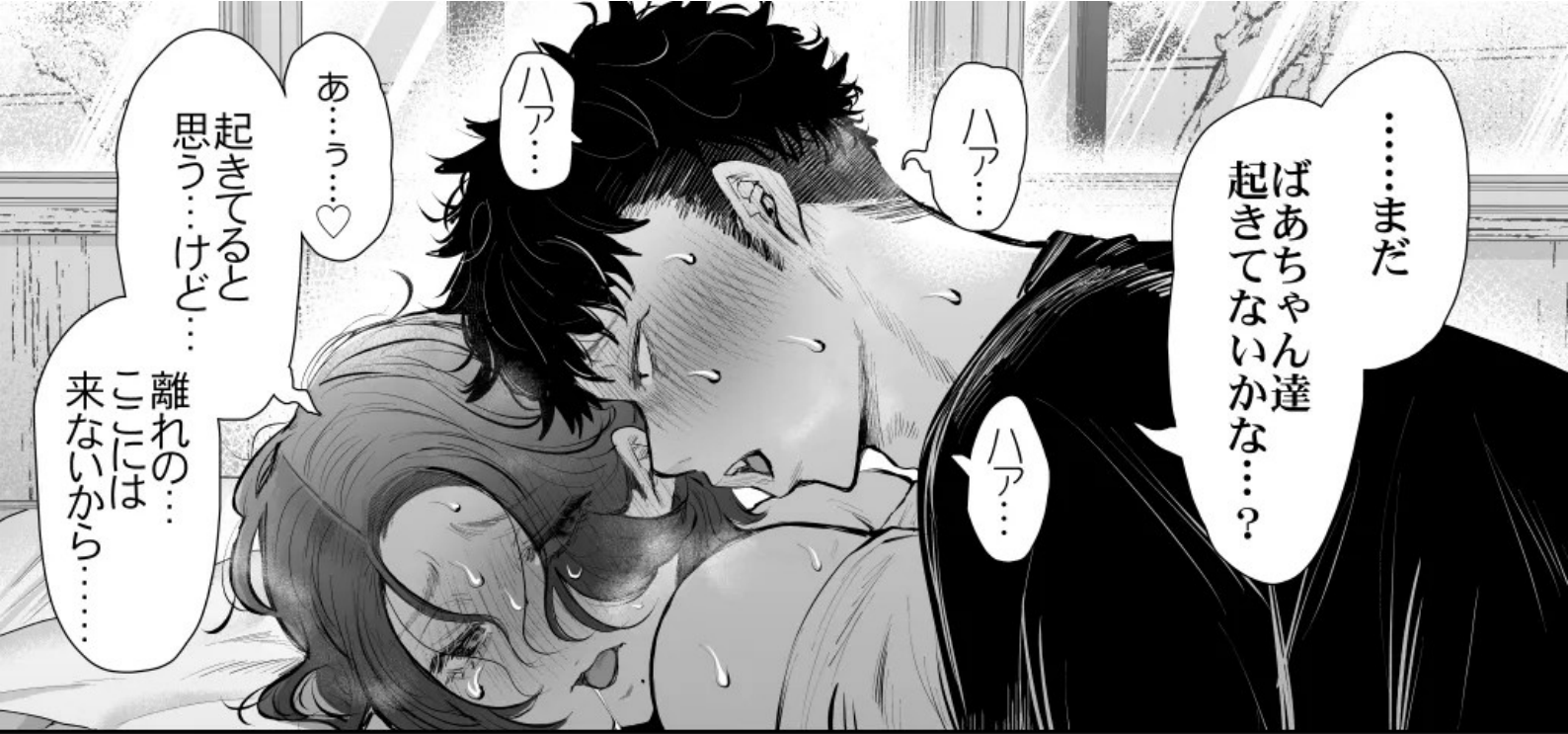
んっ♡

おっ♡

おっ♡







.....まだ  
ばあちやん達  
起きてないかな...?

ハア...

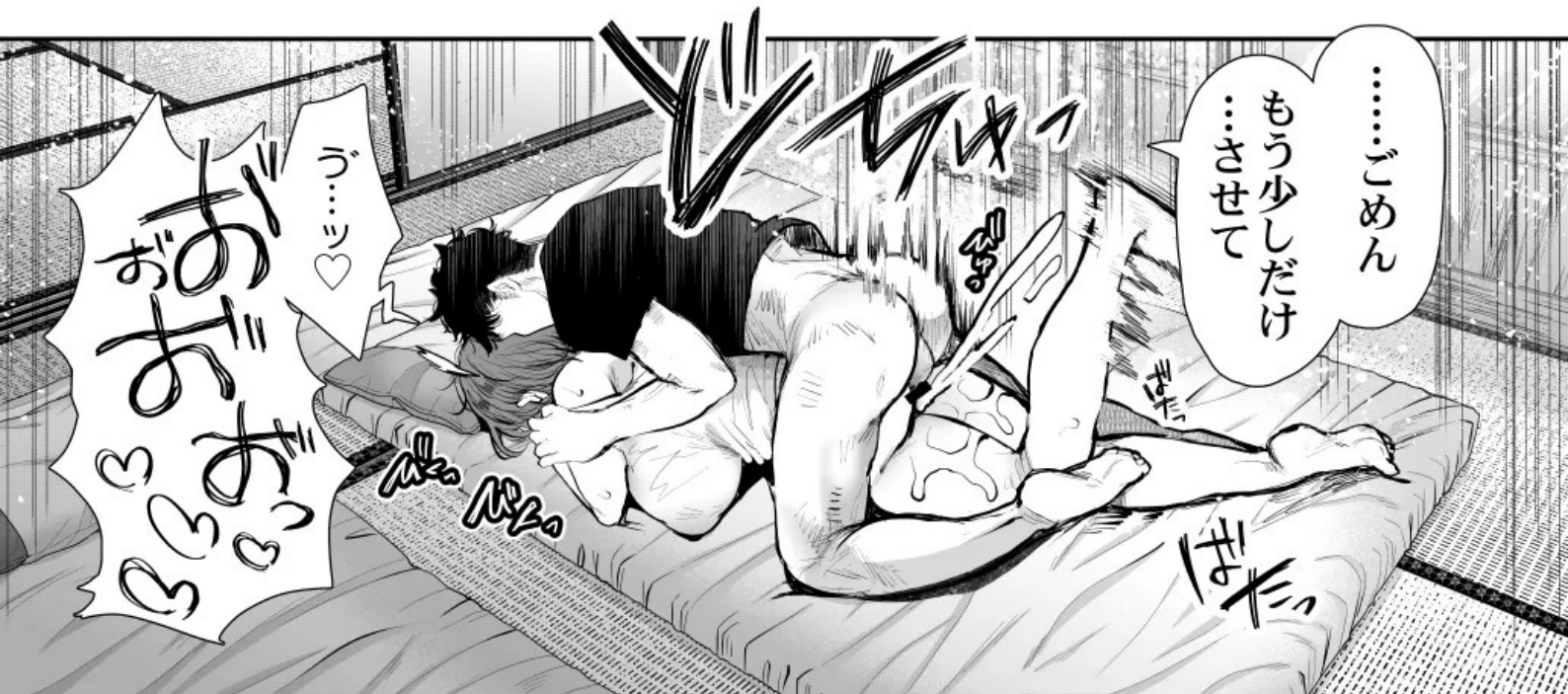
ハア...

ハア...

あ...う...♡

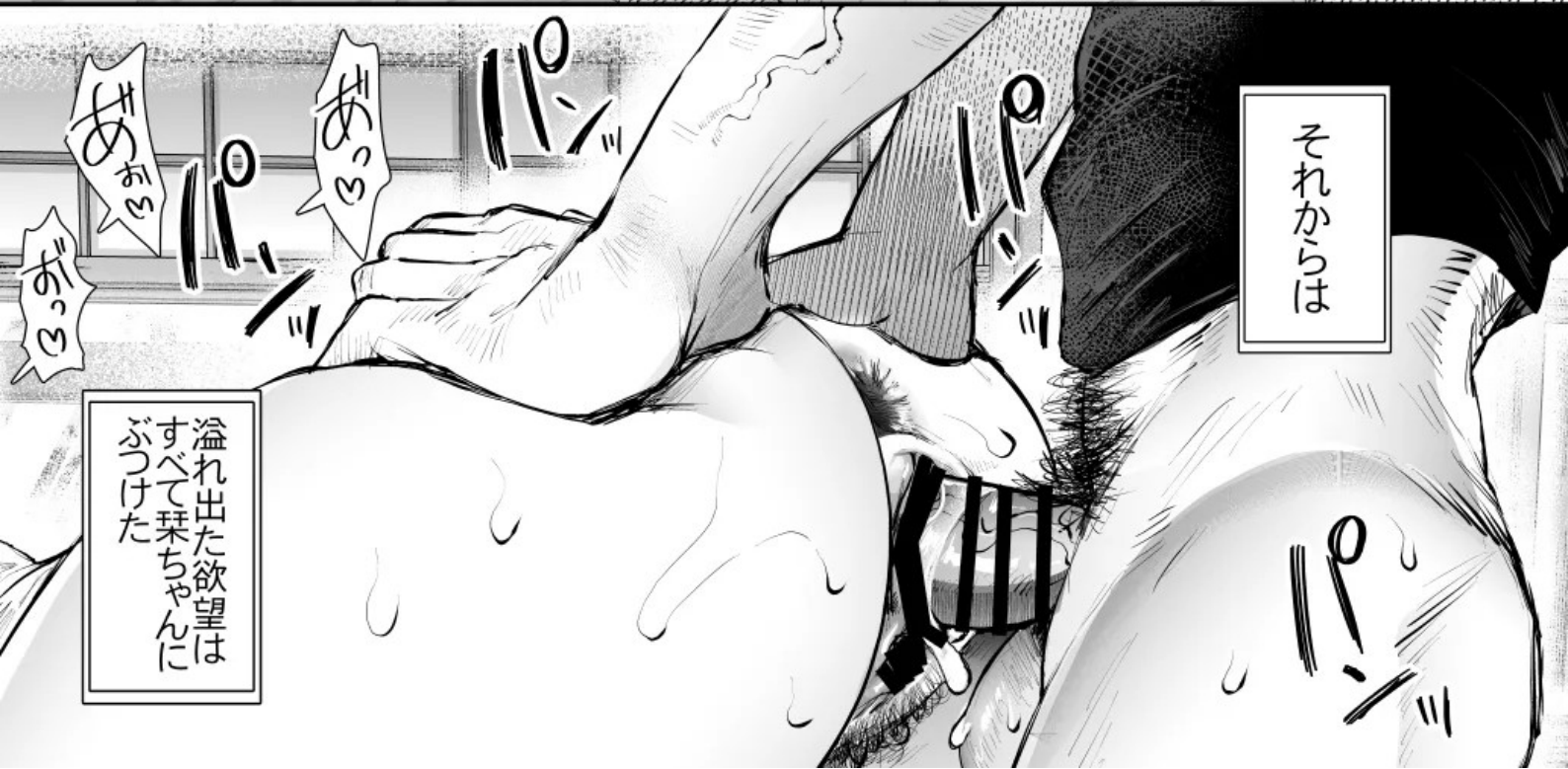
起きてると  
思う...けど...

離れの...  
ここには  
来ないから.....



.....ごめん  
もう少しだけ  
...させて

おあおあ  
ぐ...♡



それから

溢れ出た欲望は  
すべて葉ちゃんに  
ぶつけた

おあおあ  
ぐ...♡

場所も時間も  
関係なく

俺の要求を  
一切断らず

従順に  
してくれる

ばあちゃん達の  
目を盗んで  
ずつとハメてる  
状態になった

栞ちゃんが  
仕事から  
帰ってきたら

なんでも  
従ってくれる  
ようになった

栞ちゃんは  
俺の言う通りに





自分が  
こんなにも  
性欲が強く...

情けないほど  
欲望に忠実な事に  
驚いた

なによりも

栞ちゃんを...  
俺の思いのままに  
出来る事に

ものすごく  
支配欲が  
満たされた。

しゃぶって.....

奥まで...

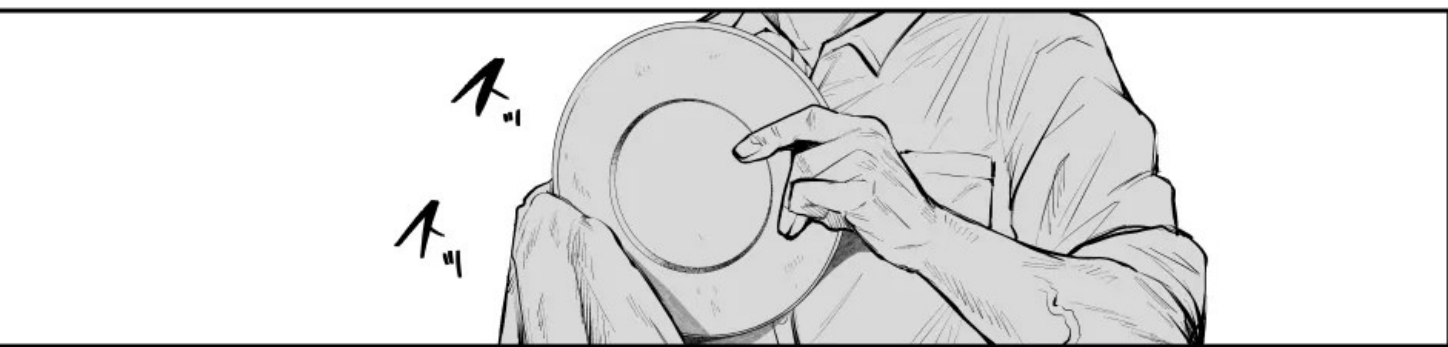
またやる...

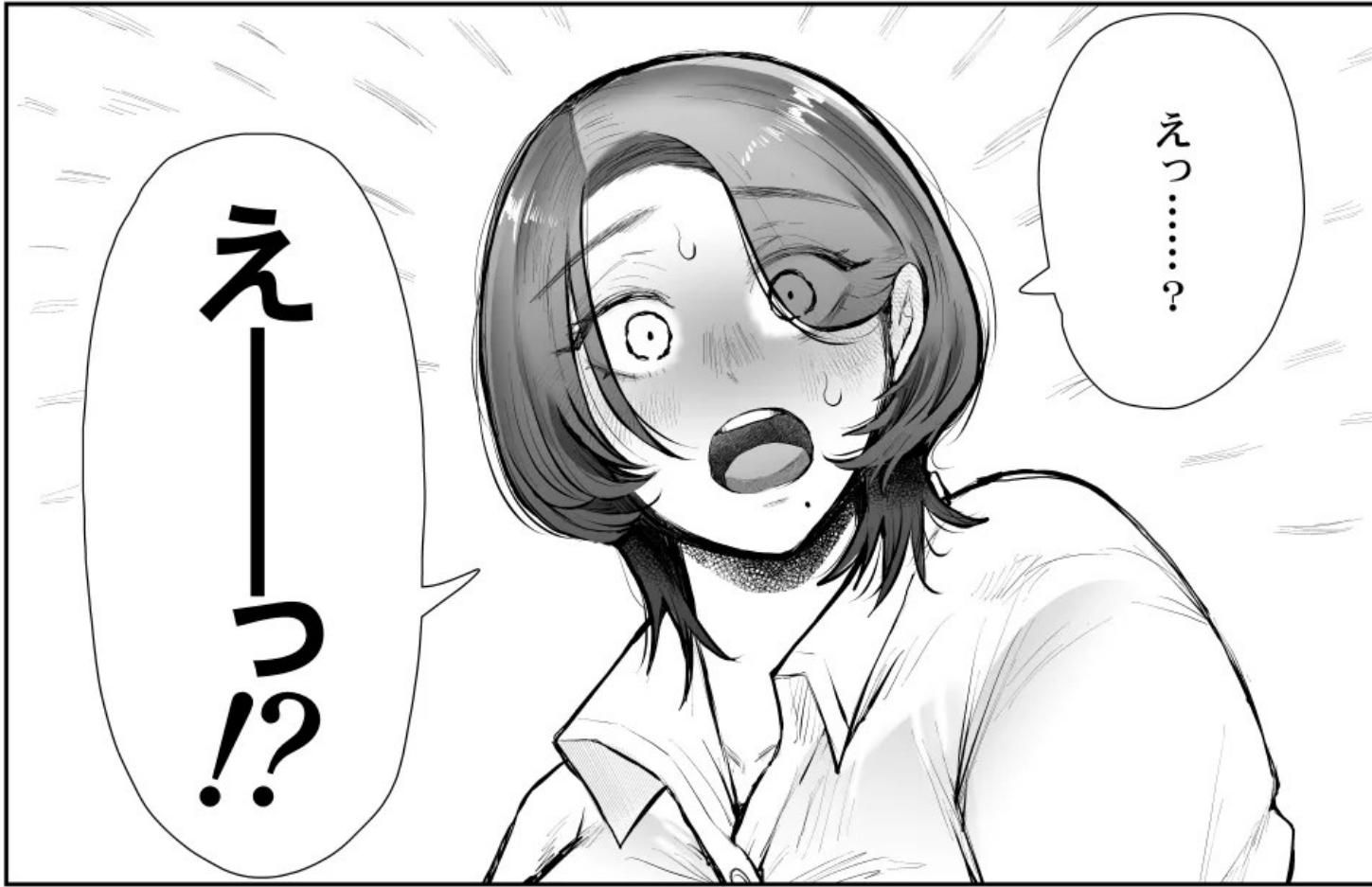
グッ♡

グッ

グッ







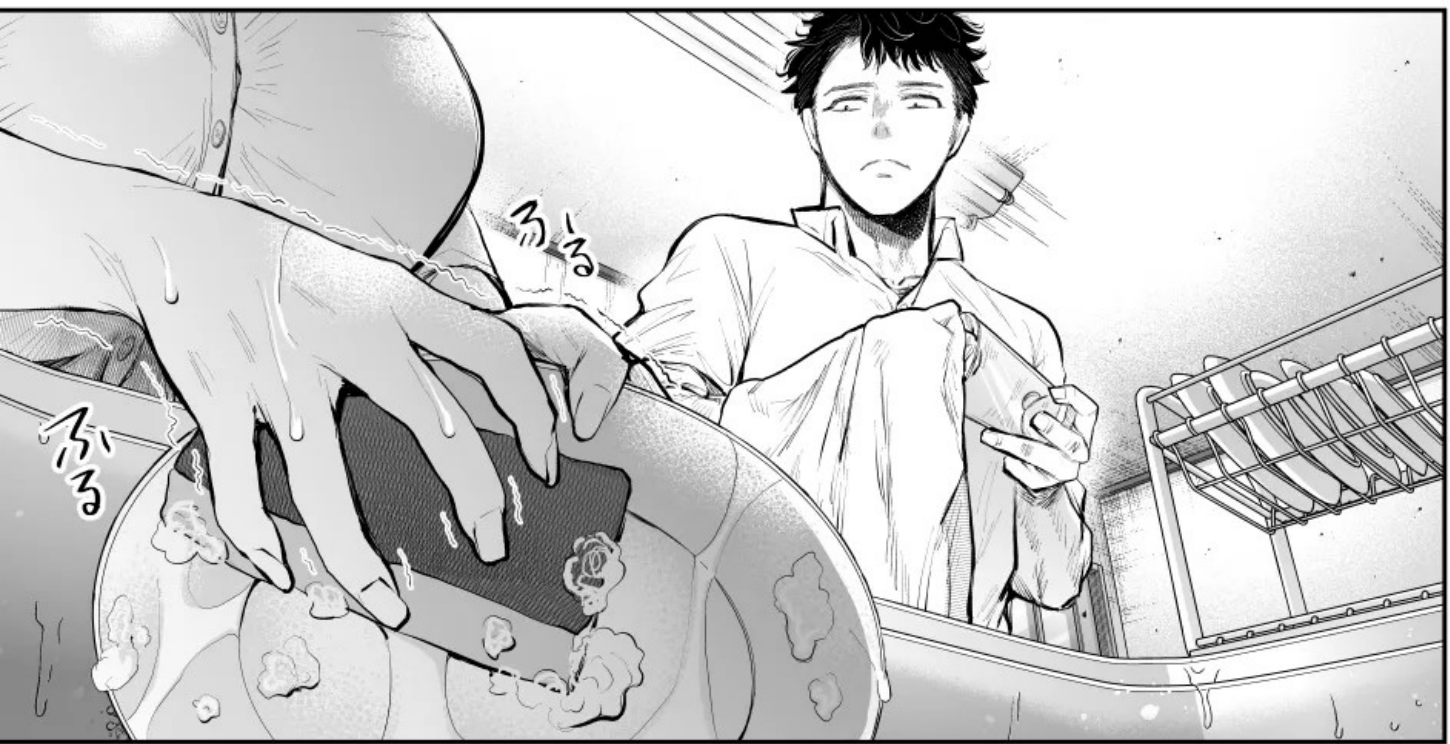


…なんだし



今だけ……

翔太が  
良ければ……  
別に……  
ないかな……  
じゃ





どうしても  
本当の部分  
見たくて……

すぐ自分を  
隠しちゃう  
から……

栞ちゃん……



……。  
改まって……

なにをするの……？



俺さ……

栞ちゃんのおまんこ  
使ったじゃん

オナホみたい  
に精子吐き捨てたよね

すっごい  
気持ち良かった

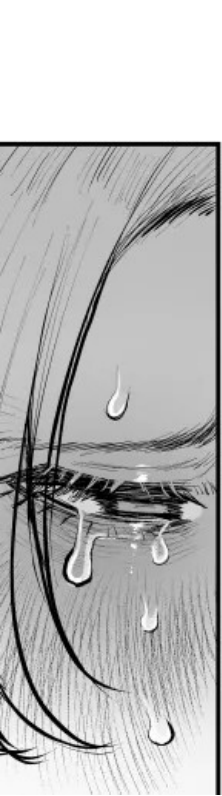


いい大人が……

しかも  
人妻のくせに……

一回り年下の  
ガキにオナホ  
扱いされて  
どう思ったの？

……ッ



答えて……



あ……あ……

そ

……それは……



す…

す、す、す…

こ、興奮…

して…た…

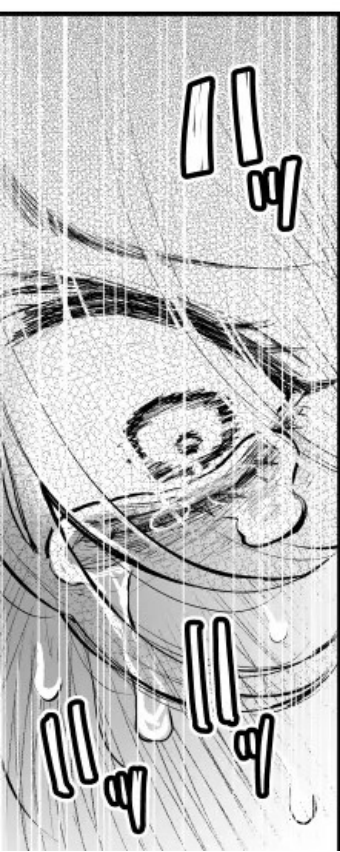
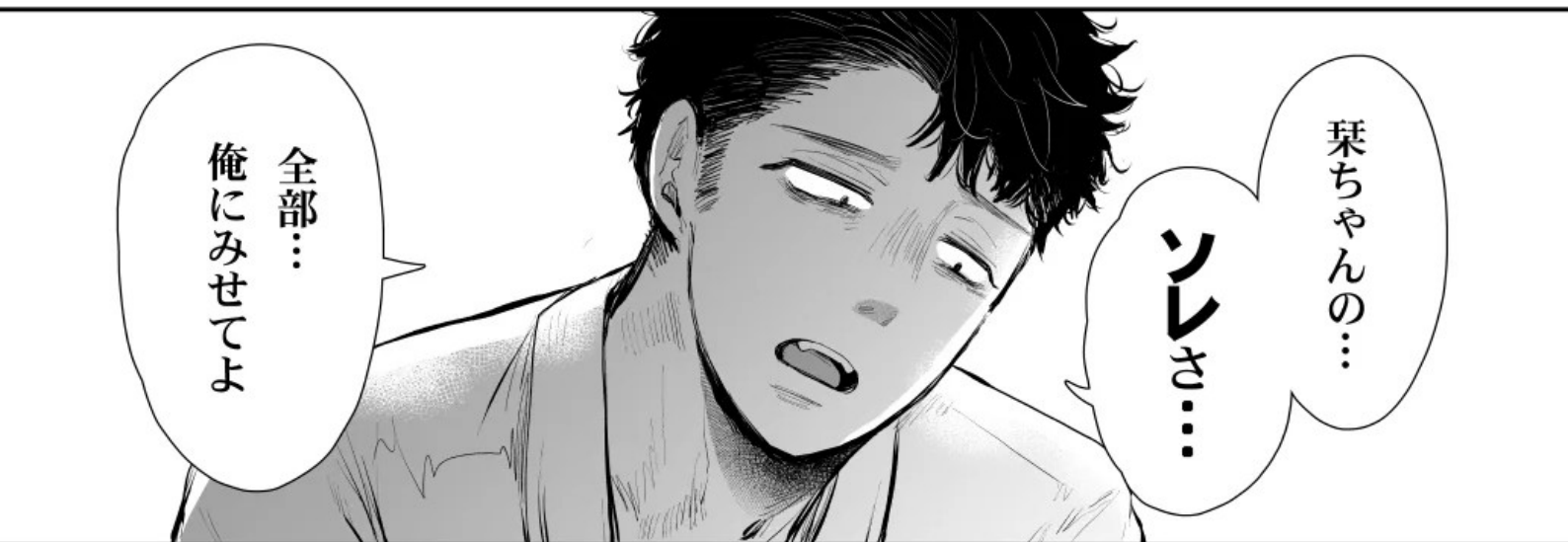


…なん…ども…

…何度も

いつて…

…ま…した…







違う…ッ

いじやいじ

奥まで  
入れ…て…ッ

もっ…

もつと…ッ!!

奥…まで…ッ

チンポの  
根本まで…

突っ込んで…

チンポで  
息…出来ない…ッ♡

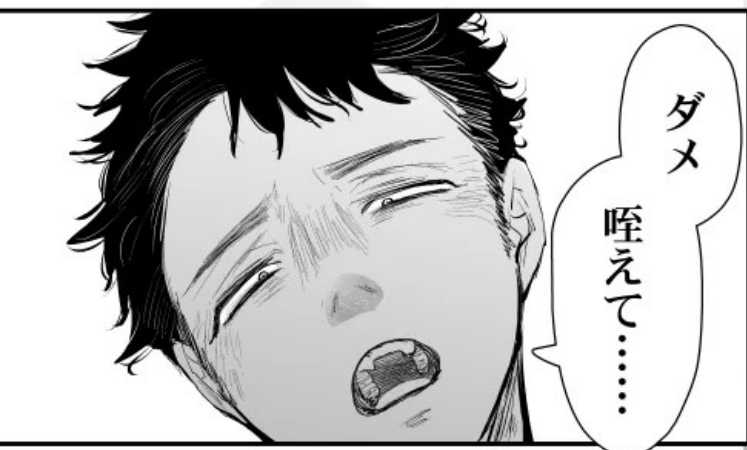
♡…♡…♡…♡

喉の…♡  
お、奥まで…♡

—…ッ!!

…そ…ッ

…上手♡







…出す…よ…ッ



……で…るッ

あ……ッ



しおり…ちゃ…ッ  
…きも…ち…い  
…イイツ…♡

あっ…♡

ぐ…♡

ぐ…♡

33…

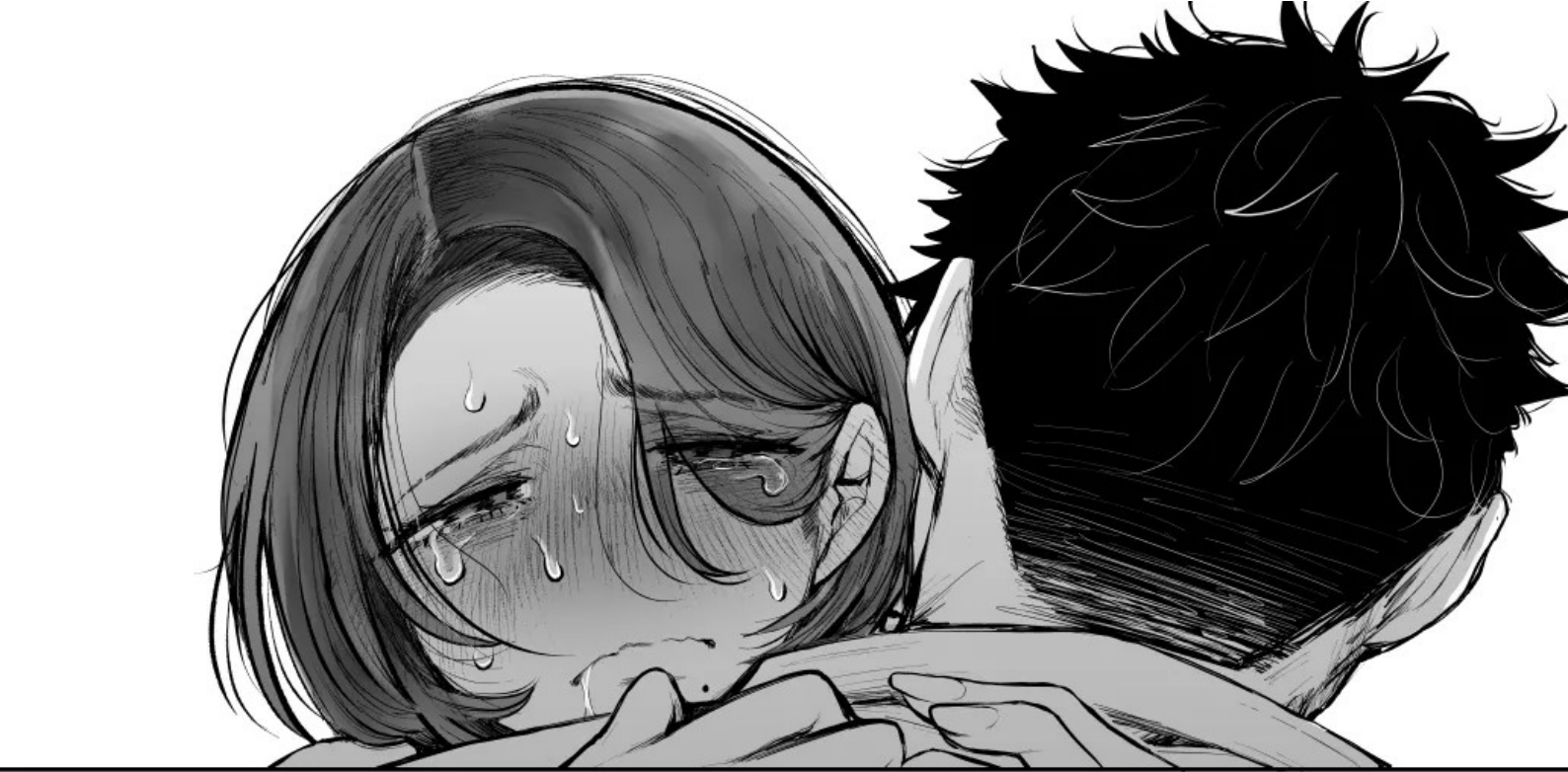
33…

33…

ド  
イ

33…



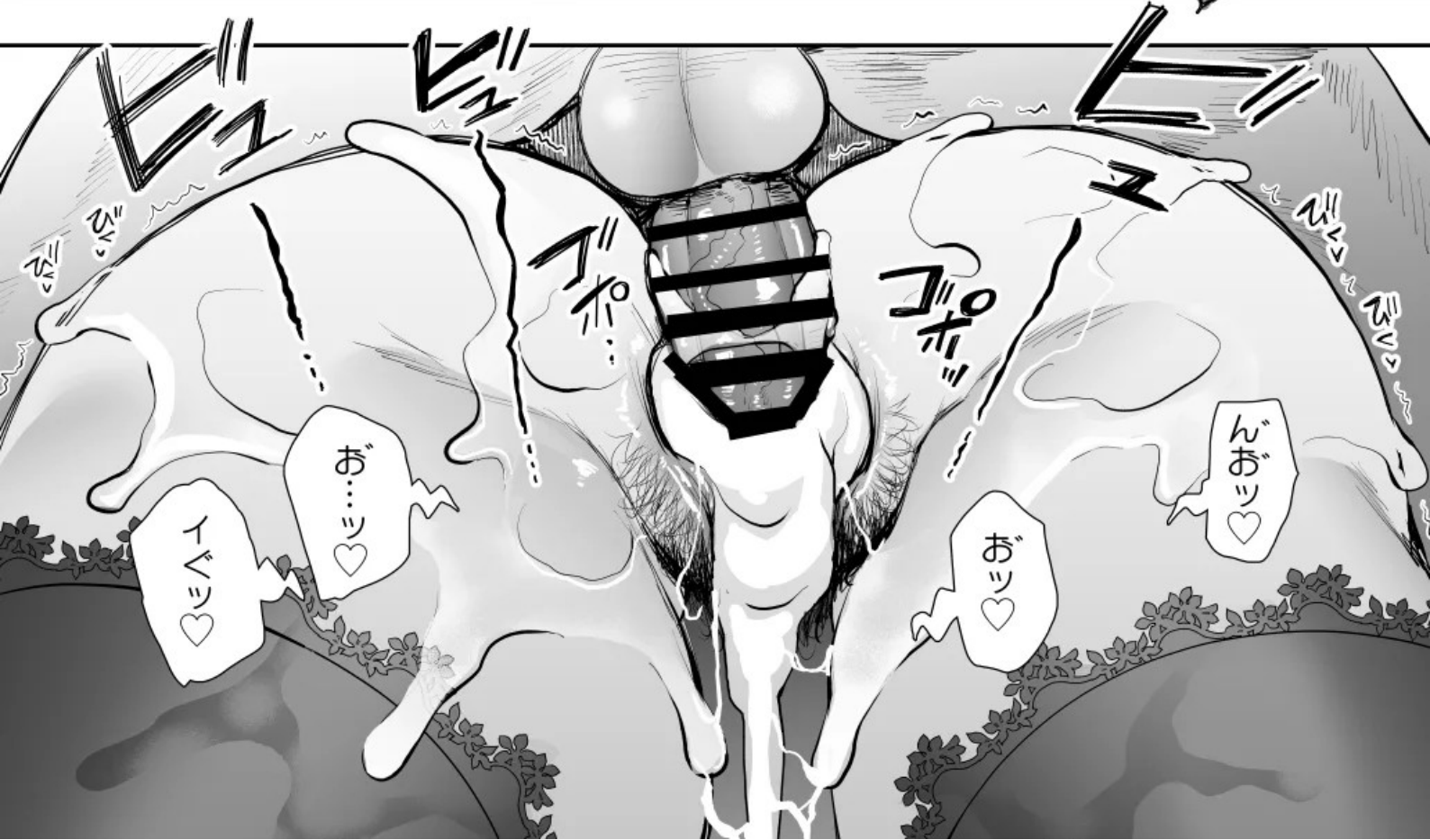


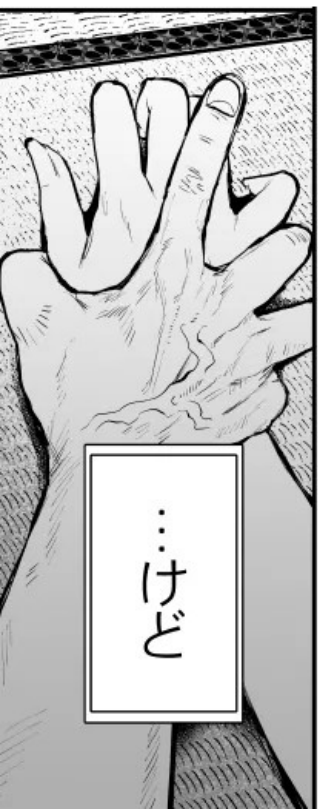












これ以上は  
踏み込んで  
いけない……。



とびつよい

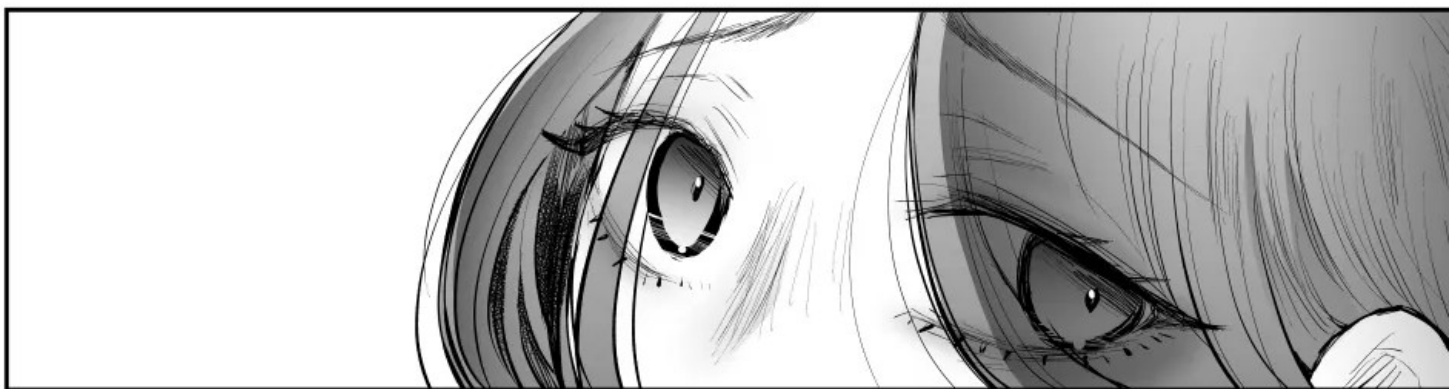
あれから  
一週間ほどは  
葉ちゃんの仕事  
が忙しくなり

身体を  
重ねる事は  
しなかった



気が引けた















あんた、  
そっちにいて  
乗ちゃんに  
だいぶ面倒みて  
もらったんでしょー

う…ん…ッ

……ッ



よかったわねー  
進路の話をとかも  
相談のつて  
もらいなよー

……ッ  
んっ…♡

そ…お  
だ…ね…ッ♡

あんた、  
調子悪いの？

……いや  
明日の事  
考えたら…  
緊張してる…  
だけ…

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡

んむっ♡

あーそう  
じゃあ、  
明日帰って  
おいでね

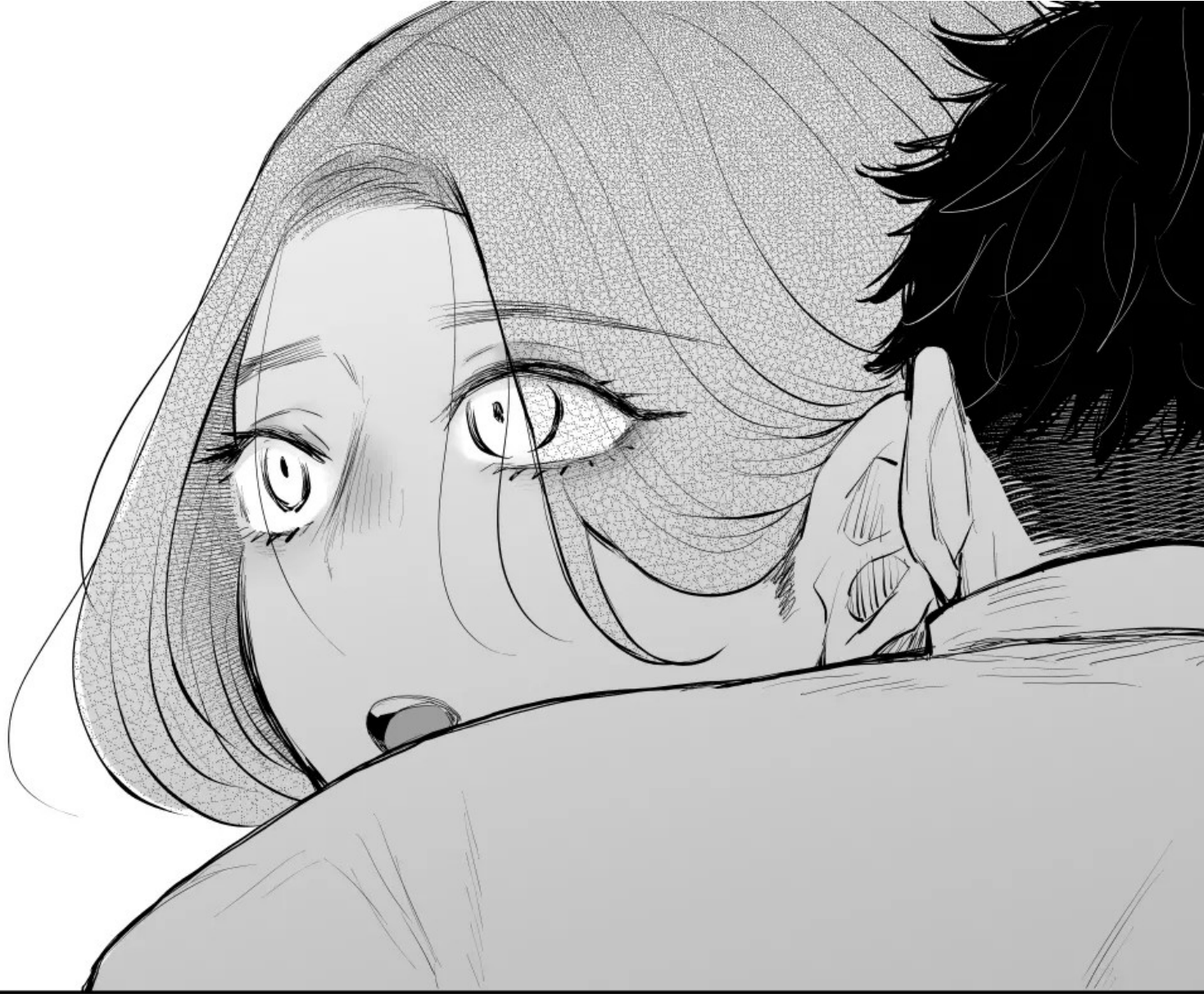
うん…  
じゃあ…













じゃあ、  
今日で  
終わりだね…

そっかあ…



たぶん明日は  
大丈夫だよ…

アンの  
お父さんには  
さっき電話して  
フオローして  
おいたから…



う、  
…うん



あ  
あの…  
お、俺…ッ



いろいろ  
受け止めてくれて  
ほんと…  
ありがとう…う…

…うん  
ごめんね

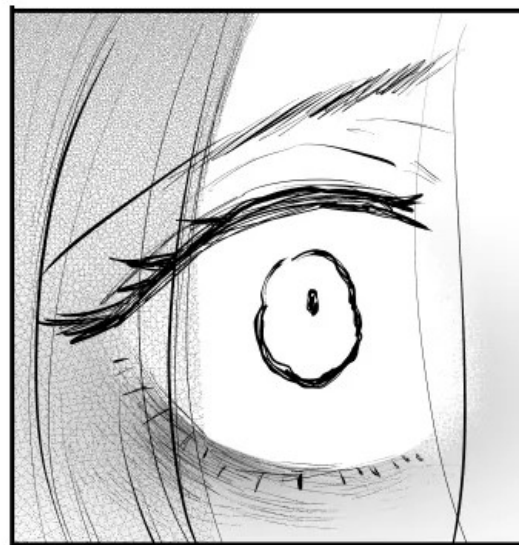


…

す、好き……  
……です



し、  
栞ちゃんが……





やだぁ...あ...あ

やっほ...っ



おッ

お願いしますッ!!





わ、わたし…ッ

しょう…た…ッ

じゃ…  
なう…いと…ッ

だめ…  
なんです…う…ッ

あう…ッ

えう…ッ



お、お願いします…ッ

わ、わたしを…ッ

私を…ッ

し、支配して…ッ

所有して…  
く…ださ…い…ッ

し、翔太だけ…なの…ッ

もう…二度と…  
みつけれ  
ない…の…

お…ねが…い  
します…ッ

お…ねい  
します…う…ッ





そんなもの  
ありません…♡

どうか…♡

わたしを…♡  
犯すことだけを  
考えてくたさい…♡



うれし…♡

す…♡

し…♡

お…♡

し…♡

お…♡

お…♡

お…♡

お…♡

は…♡

は…♡

は…♡

は…♡





俺だけのモノだよ

栞ちゃんは



あひ...♡

私は...♡

翔太だけのモノ♡



さっ...♡

使用済み♡  
お返し♡













だからあ…♡

物みたいに…♡

私をおもいつきり  
使って…えッ♡

それが…♡

すっごく  
嬉しいのオ…♡

俺も…ッ

同じ

グチャグチャに♡

使いたい…♡  
つぶしたい…♡

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



栞ちゃん…ッ♡

好き…♡

大好き…♡

嬉しい…♡

嬉しい…♡

嬉しい♡

嬉しい…♡

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ











まさか…

うーん…



今まで  
お前に野球を  
押し付け  
過ぎて  
悪かったな…

もういいから…  
切り替えて  
進学に向けて  
頑張れよ

え…!?

え…

じゃあ俺  
着替える





私の方には…  
翔太に感謝  
しているよ

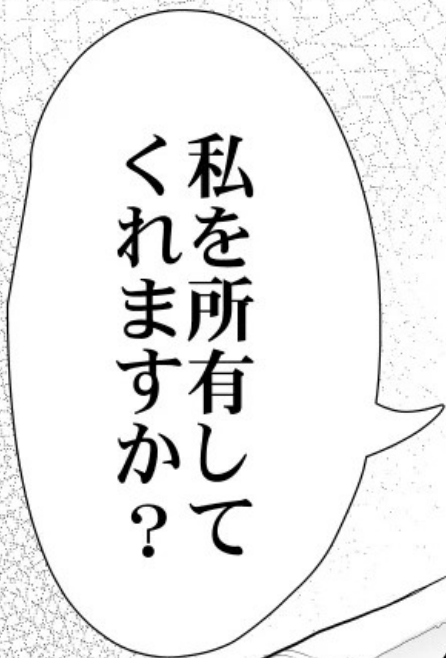
ううん…  
こちらこそ



栞ちゃん  
いなかったら  
無理だったよ

本当に  
ありがとう…

でね？



私を所有して  
くれますか？



次はいつ…



ねこという生き物は  
なぜ高い所から  
わざわざ寝ている人の  
腹の上に落ちて  
くるのだろうか。



2024. 12. 3 発行

発行者

しよむ  
(サークル KNUCKLE HEAD)

印刷所

同人誌印刷.com

連絡先

syomu\_3@yahoo.co.jp

X

<https://x.com/syomu2>

pixiv

<http://www.pixiv.net/member.php?id=3915694>

FANTIA

<https://fantia.jp/fanclubs/15674>

FANBOX

<https://www.pixiv.net/farbox/creator/3915694>



この本は18歳未満の方の閲覧は禁止です  
また、無断転載 複製などの行為はご遠慮ください



Ore to Oba tono  
Himeyakana Yokubou

